

服部新聞第150号に向けてのマイナーチェンジ

服部新聞を毎月お届けしています。服部新聞の目的は材木屋でしか知り得ない材木の本当の事を新聞形式でお届けする事により、客観的な情報を全国の方々にお届けして来ました。服部新聞を購読する以前より、より木を身近な存在として感じて頂ける存在になりましたでしょうか。

そして何かしらの『木って良いな。今度住まいを建てる時、木の住まいにしたいな。趣味で無垢材で小物製作でも挑戦したいな』等の興味を持って頂ける事に繋がれば、材木業界だけでなく日本中がハッピーになると思い続けて書き続けて来ました。

この想いは現在も全く変わりはないですが、何かの変革も服部新聞に必要ではないかと思っています。その変革の方向性は現状決めている訳では有りません。

ところで小生は商いをしています。その商いのやり方も大幅に変わって来ています。外部環境が常に大幅に変化していく中であって、変化なしでは服部商店もやっていけません。

当然新しい事業に取り組む必要も有ります。勿論昨年から取り組んでいるバグズオーダー『ウッドワーキングネットワーク事業』も、これからもっと力を入れる必要が有ります。

今後は選択と集中が必要だと考えています。その為には資金も必要ですし、時間も必要です。そこで現在の小生の思いは、150号近くまで頑張ってきた。今後も発行する事を辞める事は考えていません。しかし先ほども述べましたが、何らかのマイナーチェンジは必要だと認識しています。今後は是非購読したいと思っている方達だけに、送付先を絞らせて頂きたいと思えます。

我々日本人は国民全員全てそれなりの努力をしています。しかし結果として悲しい最後を迎える時もあります。それは資本主義の世の中にいる以上仕方が有りません。

私も社員の家族がいる以上お金儲けの為の商いをすることは、必然です。しかし単なるお金儲けでは無く、社員・お客様・それ以外の方々等服部商店の周りの方々と一緒に発展をしたいとは考えていますが、先々見えている事、2~3年先に起こると予想される事等、本当に不確実性ばかりだと思えます。その事実はアフリカ出張で感じてきたと思えます。

メールで服部新聞をお送りしている方で郵送形式でお送りしている方が現在も毎月1600人いらっしゃいます。その方々にお聞きしたいと思います。

メールでお送りしている方は2000人いらっしゃいます。その方達は今後も変わらずメールで服部新聞を送らせて頂きます。

こちらの勝手に服部新聞の送付方法をメールに切り替えさせて頂くのですが、服部新聞の購読者のごく一部の方でどうしても郵送で送ってほしいと『父はホームページが見られません。欲しい商品を娘の私が選んでお願いしています。又お送りして頂いている服部新聞は凄く父も喜んで読んでいます』と仰られる方もいらっしゃる事は承知しています。

その方々には従来どうり郵送で送らせて頂きますが、今月号の別紙ページにアンケート用紙をご用意していますので宜しくお願い致します。

アフリカ出張・パート4

現在カメルーンに材木のプロフェッショナルの日本人はいません。いるのはアマチュアの日本人だけです。ずぶの素人です。その方の事をお話すると、その方を批判しているだけにとられる可能性があります。その方との対話内容は大事な事ですので、お互いのコミュニケーションが取れた時点でお話させていただきます。

現在のカメルーンの現状を下記に整理して書きます。

- 1、賄賂が普通の国であります。
- 2、賄賂を要求する公務員とそうでない公務員を見抜くのは、現地にいる方でないと無理です。
- 3、賄賂を支援金とか応援金と言います。
- 4、現地で商いをする場合賄賂無しではやっていけません。
- 5、賄賂で作った豪邸の持ち主は褒められるそうです。
- 6、そこらじゅうで賄賂を要求してきます。空港でも平気でお土産も没収されました。
- 7、交通インフラは車しか有りません。
- 8、交通ルールは有るが、マナーが有りません。
- 9、交通信号が殆どないです。
- 10、車はナンバープレートが有りますが、バイクは有りません。
- 11、ガソリン価格は日本並みです。
- 12、レンタカーは運転手付きです。
- 13、カメルーンは日本と反対の右側通行です。
- 14、カメルーンを走っている車は全て左ハンドルです。
- 15、カメルーンのトラックは殆どベンツカルノーの中古です。
- 16、トラックはシングルタイヤです。ちなみに日本は殆どダブルタイヤです。
- 17、民主主義では有るが、独裁政治でも有ります。
- 18、国に対する忠誠心は薄いです。
- 19、特権階級しか納税をしていない為に、癒着はひどいです。
- 20、そうは言っても特権階級しか税金が取れません。
- 21、公用語はフランス語です。
- 22、現地に住んでいるベトナム人達はカメルーン人を雇用しています。同じようにカメルーン人を雇用している大手企業より何故か家族的経営の工場に見えるのです。ベトナム人の工場は経営者もカメルーン人の社員も同じように汗をかいて働いていました。その当たりをカメルーン人は評価しているのかと思います
- 23、ベトナム系・中国系のサプライヤーの工場の周辺の道のでこぼこは中途半端では有りません。乗用車で行くのは無理です。最低四輪駆動の車は必要です。
- 24、中国人も積極的に進出していますが、カメルーン人達が暮らす凄く汚れた所には決して近付いていません。
- 25、現地に住んでいる中国人はフランス語を話せません。
- 26、フランス人が昔作った線路が有り、現在でも活用されています。
- 27、首都のヤウンデ貿易の町ドウアラ以外は日常的に停電が有ります。

- 28、首都のヤウンデ貿易の町ドウアラ以外は昼食を食べられる所が殆ど有りません。
- 29、大統領と首相がいる政治体制です。
- 30、首相は大統領が指名します。
- 31、日本人が通える病院は有りません。
- 32、先進国の人間が利用するホテル代金は割高感が凄く有ります。

木曾出張

昨年5月20日の市に参加して以来1年ぶりに市に参加してきました。昨年、小生の日頃の体へのケアが足りない為に、疲労がたまっていた右足のひざに激痛が走ったのは昨年5月20日でした。軽い半月板損傷でしたが、完治するのに1年間の時間が必要でした。この話はさておき1年ぶりに出掛けました。先方の木曾官の市の主催者の皆様はお元気でした。

以下は、1年ぶりに出掛けた印象です。

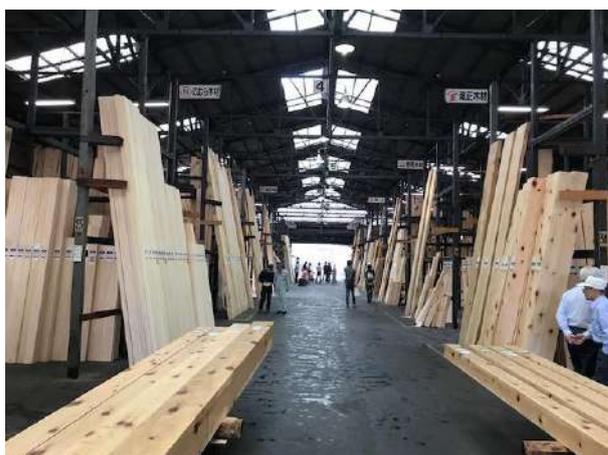
- 1、昨年より天然木曾ヒノキの出品は減っています。
- 2、昨年より高品質材は全体の出品減より減っています。
- 3、木曾以外の天然ヒノキも良質材は減っています。
- 4、人工林の出品だけは減っていません。
- 5、御客数は昨年から比べると減っています。

木曾の市はせり売りなので、1年振りの為に最初少し戸惑いましたが、全体にはまずまずの買い物ができました。

購入した中で、この商品は今後出来ないと思われる商品も多数有ります。服部商店のホームページの中の下記ページをご覧ください。

<https://www.hattoriwood.jp/muku/sinnyouju-kouri/>

<https://www.hattoriwood.jp/muku/softwood-squar/>



A T C 改装記念・プレゼント祭り

昨年 11 月に大阪南港 A T C 9 階フロアの一角をお借りして始めましたバグズオーダーのベースの第 1 回目のリニューアルを行います。

同展示場には、アメリカ広葉樹で製作した小物作品を置いています。服部商店の女性スタッフがその中から厳選した 3 作品をプレゼントします。

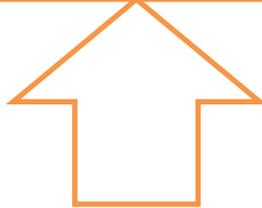
対象者は 7 月 1 日～31 日の 1 ヶ月の期間中に商品代金合計 30,000 円 (税込) 以上をお買い上げ頂いた方です。抽選方法はインスタのオンライン、皆様に見て頂けるプラットフォーム上で行いたいと考えています。

具体的な作品の最終発表は 6 月 29 日の服部商店のホームページのトップでお知らせ致します。



プレゼント商品は現在 A T C の展示場に展示している作品の中から、女性スタッフが厳選した 3 作品です。

F A X 072-422-8577 又は
メール wood@hattoriwood.co.jp



アンケートのお願い

1、服部新聞の購読は続けたい。

はい

いいえ

2、はいの方をお願いします。メールアドレスを記入してください。

会社名	
お名前	
ご住所	
連絡先ご住所	
服部新聞送付先 E-mail	

(株)服部商店
〒596-0011
大阪府岸和田市木材町 16-1
TEL 072-438-0173・0511
服部雅章